

PRESS RELEASE

2022年7月4日

野村不動産ホテルズ株式会社

リリースカテゴリ

ホテル

サステナビリティ

「庭のホテル 東京」、「NOHGA HOTEL」 客室設置アメニティのバイオマス製品・木質製品への切り替え 持続可能な社会の実現に向けた環境保護の取り組み

野村不動産ホテルズ株式会社（本社：東京都新宿区/ 代表取締役社長：青木 秀友）は、環境保護への取り組みの一環としてプラスチック提供量の削減を進めるため、運営する4ホテル（庭のホテル 東京、NOHGA HOTEL UENO TOKYO, NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO, NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO）において、2022年9月より順次、客室に設置するアメニティのバイオマス製品や木質製品への切り替え、客室内常備品の見直しを始めることといたしました。

野村不動産グループでは、企業として、持続可能な社会を実現する取り組みをより一層推進していくため、2050年のありたい姿としてサステナビリティポリシーを策定し、2030年までの重点課題（マテリアリティ）を特定しております。

野村不動産ホテルズでは、気候変動への対応や水資源・天然資源の適切な利用、生物多様性の配慮など、地域や社会の課題解決に貢献するため、省エネルギー・脱炭素社会への取り組みや再生可能エネルギーの活用、適切な資源利用など、ステークホルダーの皆様と一体となった環境保全活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<客室でのアメニティ提供>

- ・「庭のホテル」：もみ殻を原料とした環境にやさしいバイオマス素材アメニティに切り替え済みです。
歯ブラシ・ヘアブラシ・コットン&綿棒・ヘアゴム・シェーバー・クリーム・スリッパ・ミネラルウォーター（100%再生ペットボトル入り）を客室に設置しております。
- ・「NOHGA HOTEL」：天然の竹製歯ブラシ・スリッパ・ミネラルウォーター（100%再生ペットボトル入り）を設置します。客室に設置するアメニティは最小限にし、お客様には普段から使い慣れたものをお持ちいただくことで、お客様とともに、環境保護への取り組みを推進してまいります。
（ご希望のお客様には、フロントにて一部のアメニティをお渡しします。）



庭のホテルにて採用のバイオマス素材アメニティ。

生物由来の資源 もみ殻を 12~35%配合した製品です。「一般社団法人日本有機資源協会」の基準に準じた環境保全に配慮した商品です。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE



NOHGA HOTELにて採用の竹製歯ブラシ。

天然の竹を使用したエコ素材を枝の部分に使用して仕上げた製品です。ご連泊中はもとより、ご滞在後にお持ち帰りいただき、繰り返しお使いいただくことが可能です。

■ 野村不動産ホテルズのサステナブルな取り組みについて

野村不動産ホテルズでは、「環境への配慮」という観点から、以下の活動を進めております。

➤ 「エコマーク認証」の取得

「庭のホテル 東京」 / 2021年3月19日取得

「NOHGA HOTEL UENO TOKYO」 / 2021年6月25日取得

「NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO」 / 2021年6月25日取得

「NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO」 / 2022年6月24日取得（2022年4月開業）

➤ 「エコマークアワード 2021」において、野村不動産グループホテルとして「優秀賞」を受賞

エコマークアワードは、日本環境協会が2010年度に創設した表彰制度です。環境配慮商品の普及に関する優れた事例を広く公表するとともに、エコマーク商品の更なる普及拡大により、持続可能な社会の実現に寄与することを目的としているものです。

「優秀賞」は、エコマークを通じて「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等に授与されます。

この度は、環境性能を高めた施設設計と、脱炭素を強く意識したホテル経営が高く評価され、受賞に至りました。（「エコマークアワード 2021」優秀賞受賞について、公益財団法人日本環境協会 選考委員会からの評価コメントを抜粋）



NOHGA HOTEL
UENO TOKYO

NOHGA HOTEL
AKIHABARA TOKYO

ルテホの庭
HOTEL NIWA TOKYO

あしたを、つなぐ



PRESS RELEASE

➤ 「電力のグリーン化」の取組み

野村不動産グループは、サステナビリティポリシー達成のための重点課題（マテリアリティ）の1つに「脱炭素」を特定し、当社グループ開発建物における「省エネ」、「低炭素化」、「再エネ」の推進によるCO2総排出量の削減に取り組んでおります。

野村不動産ホテルズに於いても、地球環境に優しいホテルを目指し、2019年より順次、CO2削減のために「CO2ゼロプラン」を導入し、調達電力のCO2排出量ゼロ化を行っております。なお、「CO2ゼロプラン」とは再生可能エネルギー由来の非化石証書等を活用し、実質的に再生可能エネルギー100%・CO2排出量ゼロを実現するものです。

➤ サステナブルな取組みについて

取組内容	対象ホテル	重点課題(マテリアリティ)
<ul style="list-style-type: none"> 「CO2ゼロプラン」導入による調達電力のCO2排出量をゼロ化 館内照明器具のLED化によるCO2削減及び化石燃料の使用量削減 	全ホテル	脱炭素 
※庭のホテルは、2012年より館内照明のLED化を進め、約90%を交換済。今後も可能な限りのLED化を推進。 ノーガホテルは 館内照明器具すべてLEDを採用。		
<ul style="list-style-type: none"> 客室備品にエコ製品を使用(省エネ型テレビ、節水型機器) 敷地内にて緑地を整備 		
<ul style="list-style-type: none"> 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の評価書を取得し、エネルギー削減 		
<ul style="list-style-type: none"> リネン交換抑制（エコカード「リネン類交換不要」の導入） 廃棄物再利用化（紙・ガラス・プラスチックゴミ、レストランの食品廃棄物などの再利用） バスアメニティの個別ボトル不使用（シャンプー・ソープ類は詰め替え用ボトルを利用） リターナルボトルの優先使用（館内レストランにてリターナルボトルを優先的に使用） 紙ストローの導入（館内レストランでの紙ストロー使用） 環境に配慮した食材の利用（有機栽培や自然栽培の食材、ドリンク等） 環境配慮型洗剤の使用 	全ホテル	サーキュラーデザイン 
<ul style="list-style-type: none"> オーガニック成分を利用したバスアメニティの使用 廃材を利用した備品の使用 	NOHGA HOTEL	
<ul style="list-style-type: none"> 水量抑制（節水型便器の使用） 水量抑制（バスルーム内に節水機能のあるシャワーヘッドを使用） 	庭のホテル	
<ul style="list-style-type: none"> 館内庭園の流水の循環利用 		

PRESS RELEASE

野村不動産ホテルズ 運営ホテルについて

■庭のホテル 東京 (2009年5月開業、2022年3月大規模リニューアルオープン)

JR 水道橋駅より徒歩 4 分と交通至便ながら緑溢れる静かな立地と、日本の伝統美を追求した精緻な空間が国内外のゲストから高い評価をいただいております。贅沢さよりも上質さにこだわった都会の隠れ家で、ゆったり落ち着いた大人の時間をお過ごしください。

所在地：東京都千代田区神田三崎町 1-1-16

【公式 HP】 <https://www.hotelniwa.jp/>



■NOHGA HOTEL UENO TOKYO (2018年11月開業)

江戸から続く文化が今も息づく街・上野。上野公園をはじめ、国立西洋美術館、上野動物園、アメ横など人気観光地への拠点として便利な立地です。「快適な目覚め」をお届けする洗練された客室、地域食材活用と自然な製法にこだわったレストラン、ゆったりくつろげるテラスやライブラリーラウンジ、ギャラリー、フィットネスも完備。旅のスタイルを問わず、好奇心を満たしてくれるライフスタイルホテルです。

所在地：東京都台東区東上野 2-21-10

【公式 HP】 <https://nohгахotel.com/ueno/>



■NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO (2020年9月開業)

多様性・好奇心・創造性に溢れた街、秋葉原で体験の核となるのは「音楽とアートと食」。高品質の音響設備を活かした客室内外の体験、気鋭の現代アートによって彩られる洗練された空間、そして日本の旬の食材を味わうことのできるレストラン等を通じてお客様のスタイルに合わせた寛ぎを生み出します。街の文化と感性に触れる、客室に留まらないホテルの楽しみ方をご提案してまいります。

所在地：東京都千代田区外神田 3-10-11

【公式 HP】 <https://nohгахotel.com/akihabara/>



■NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO (2022年4月開業)

「MEET HOT KYOTO.」というコンセプトのもと、京都に於いて各分野の今を創るスペシャリストたちとのコラボレーションによる、アート、食、音楽、メディテーションといったクリエイティブ体験を独自にご用意しております。併設するレストランでは、ジョスパーオープンのグリル料理や、厳選した地元食材をご提供。京都市内を一望できる最上階のルーフトップバーでは、幻想的な時間をお楽しみいただけます。

所在地：京都府京都市東山区五条橋東 4-450-1

【公式 HP】 <https://nohгахotel.com/kiyomizu/>



PRESS RELEASE

(参考) 野村不動産グループの成長と持続可能な社会の実現に向けた取り組み

Earth Pride

地球を、つなぐ

人間らしさ

テクノロジーがますます発展し、人々の暮らしと融合する世の中において、人間の存在意義や人の幸せとは何かを問い続ける。人と人がお互いを支えつながり合う、人間らしい暮らしを提供し、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献する。

自然との共生

未来を生きる子どもたちと自然豊かな地球のために、人間の経済活動をもう一度見直し、本来あるべき美しい環境との共生を実現する。地球の限りある資源を大切にしながら、自然と人間との関係をより良いものへと変えていく。

共に創る未来

多種多様な組織・人が共に手を取りあい、それぞれの枠を超えて今までにない価値を生み出す。そして、背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会をめざし、暮らし・ビジネス・働き方において、常識にとらわれず挑戦し続ける。

野村不動産グループでは、2050年のありたい姿としてサステナビリティポリシー「Earth Pride-地球を、つなぐ-」を策定しております。また、同ポリシー実現の為に、2030年までに特に取り組むべき重点課題(マテリアリティ)として、「ダイバーシティ&インクルージョン」、「人権」、「脱炭素」、「生物多様性」、「サーキュラーデザイン」の5つを特定、また、重点課題の進捗を測るために、気候変動や人権・ダイバーシティなどに関して計測する指標(KPI)を設定しております。

2050年という将来に向けて、企業活動の舞台である地球を“誇れる地球”として未来へつなげていくために当社グループでは、今後も持続可能な社会を実現する取り組みをより一層推進してまいります。

<https://www.nomura-re-hd.co.jp/cfiles/news/n2022042602014.pdf>

